



ホームページURL : [yachiyo.ed.jp/eonisi](http://yachiyo.ed.jp/eonisi)

## 今年度のESDの重点目標（取組）

- ・ユネスコスクール及びESDの考え方を理解した上で、従来行っていた活動をESDの観点で捉え直し、ESDの実践を行う。
- ・学年の実態に応じて、現在の社会情勢への興味関心を高め、自分にできることがないかを考えることができる。

## 【令和5年度 ESD 実践報告】

### （1年）「花や野菜となかよし」（生活科，図画工作科）

植物の育つ様子を見ながら、目、耳、鼻、手を使った観察方法が身に付いた。花を咲かせた後、花や実で遊ぶ活動を行ったり、アサガオのつるに学校の周辺で拾ったドングリや松ぼっくりなどで飾りを付けてクリスマスリースを作ったりした。一人一鉢を育てることで、植物の生命力に触れ、命を育む体験となった。



### （2年）「はっけん くふう おもちゃ作り」（生活科）

おもちゃ作りの学習で、各家庭で捨ててしまう空き箱やトイレットペーパーの芯、ペットボトルのキャップなどを回収し、それらを使って動くおもちゃを作った。学習の最後には、おもちゃランドに1年生と4年生を招待し、身近にあるものでおもちゃを作って遊ぶ楽しさを実感できた。



### （3年）「工場の仕事」（社会科）

学区内にある牛乳工場に見学に行き生産工程を実際に見ることにより、自分たちに、どのように安心・安全な牛乳が届けられているのかを確認できた。ただ、現状では牛乳が廃棄されていることを知り、食品ロスの観点から「給食の牛乳を残さない」「工場で働く人や牧場の人のためにできるだけ飲みたい」という考えをもつことができた。



### （4年）「みんながくらしやすい町を目ざして～みんなにできること～」（総合的な学習の時間）

高齢者や身体的に不自由がある人でも、くらしやすい生活ができるために、町ではどんな工夫が見られるのか、また校内ではどんな工夫が見られるのかを調べた。校内でも、スロープや個室トイレなどの施設が設置してあることから、町全体への視野が広がり、くらしやすい町にするために、どんな取組をしているのか問題意識をもつことができた。

福祉とは？  
「みんなが幸せになれる」ような  
取り組みや活動のこと。



### （5年）「もったいないプロジェクト」（総合的な学習の時間）

食品ロスの国内の現状を知り、児童会の取組とタイアップし、フードロスを減らすために自分たちにどんなことができるかを話し合った。さらに、近くのスーパーマーケットで取り組んでいるフードバンクに協力し、食品ロスを減らす具体的な方法を実践することができた。また、給食を残さないという小さな積み重ねでも食品ロスを防ぐことができると知り、意識を高めることができた。



### （6年）「ドリームマップ～将来の自分～」（総合的な学習の時間）

キャリア教育の一環として、自分の将来の職業を考える活動を行った。なりたい職業をすぐに決めるのではなく、自分の長所や性格をワークシートに記入し、改めて自分は何になりたいのかを見つめ直した。その結果、漠然としていた将来の職業が明らかになり、それに向けて具体的な見通しがもてるようになった。

